

SDGs宣言

～田川市立病院～

2015年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、当院の基本理念および中期事業計画の取組と重なり合うもので、安全安心な医療を継続的に提供するための目標と考えます。

中期事業計画による病院経営を通じて、SDGsに賛同し、2030年のゴールを目指して、持続可能な社会の実現に取り組みます。

2022年3月1日

貢献する目標と取組



1 地域が求める医療の提供



必要なときに、必要な医療が受けられるように「断らない医療」の実現に最大限に取り組んでいます。また、政策医療を推進するとともに、地域に必要な専門医療の強化を図っています。

- ① 断らない医療の実現
- ② 政策医療の推進と専門性の強化
- ③ 感染症医療の提供

2 医療・介護との連携



切れ目のない医療の提供に向けて、積極的な医療連携に取り組んでいます。また、地域の医療・介護従事者の育成に努めています。

- ① 医療機関との連携強化
- ② 介護施設との連携強化
- ③ 医療・介護従事者に対する研修会の充実
- ④ 交流の促進



3 予防医療の充実



早期発見・早期治療に向けて、健診、検診体制の充実を図っています。また、生活習慣病に関する知識の普及啓発や健康づくりの各種講座の充実に努めています。

- ① 健診、がん検診等の充実
- ② 生活習慣病予防に向けた取組の強化
- ③ 住民に対する健康講座の充実



4 良質な医療の推進と患者満足度の向上



チーム医療やバス推進等により、診療の質の向上に取り組むとともに、医療安全の確保に努めています。また、患者さんが不安のない医療を受けられるように努めています。

- ① 医療の質の向上
- ② 医療安全対策
- ③ 患者に寄り添った医療の提供

5 地域と歩む病院運営



地域のための病院として、住民と共により良い病院づくりができるように病院運営への住民参加を図っています。また、ボランティア活動の充実に取り組んでいます。

- ① 住民と築く病院運営
- ② 情報発信の強化



6 職員の育成・職場環境の向上



学会・研修会への積極的な参加による職員の質の向上を図るとともに、学会発表や論文作成を推進し、医療の質の向上に貢献しています。

- ① 教育研修の推進
- ② 職場環境等の充実



SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な社会の実現を目指し、世界中の経済・社会・環境をめぐる広範な課題を解決していくとする国際目標であり、17の目標と169のターゲットで構成されています。

※詳細については、ホームページに掲載の「田川市立病院SDGsの取組」パンフレットをご覧ください。